



平成 26 年 9 月 12 日
東 京 税 関

中国来の一極集中が継続

～平成 26 年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況～

平成 26 年上半期（平成 26 年 1 月～6 月）の東京税関における偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 差止件数及び点数：1 日平均 27 件、750 点を差止め

- ・ 輸入差止件数は 4,940 件（前年同期比 15.9%減）で、輸入差止点数は 136,984 点（前年同期比 14.9%減）でした。
- ・ 1 日平均で約 27 件、約 750 点の知的財産侵害物品を差し止めています。

2. 仕出国別：中国来の一極集中が継続

- ・ 中国来の知的財産侵害物品の差止件数は 4,458 件（前年同期比 17.5%減、構成比 90.2%）、差止点数は 112,466 点（前年同期比 16.2%減、構成比 82.1%）。件数ベースで中国は平成 19 年以降、最大の仕出国となっており、仕出国別の構成比でも平成 23 年以降、9 割超を占め、中国来の一極集中が続いています。

3. 品目別：靴類, 身辺細貨類, 家庭用雑貨, 帽子類等が増加

- ・ 件数ベースでは、ブーツ、スニーカー等の靴類（611 件、前年同期比約 2.6 倍）、ネックレス、指輪等の身辺細貨類（115 件、前年同期比約 2.5 倍）の伸びが目立ち、点数ベースでみると、電気式歯ブラシ等の家庭用雑貨（1,772 点、前年同期比約 2.8 倍）、帽子類（1,721 点、前年同期比 61.6%増）の伸びが目立っています。

【お問い合わせ先】

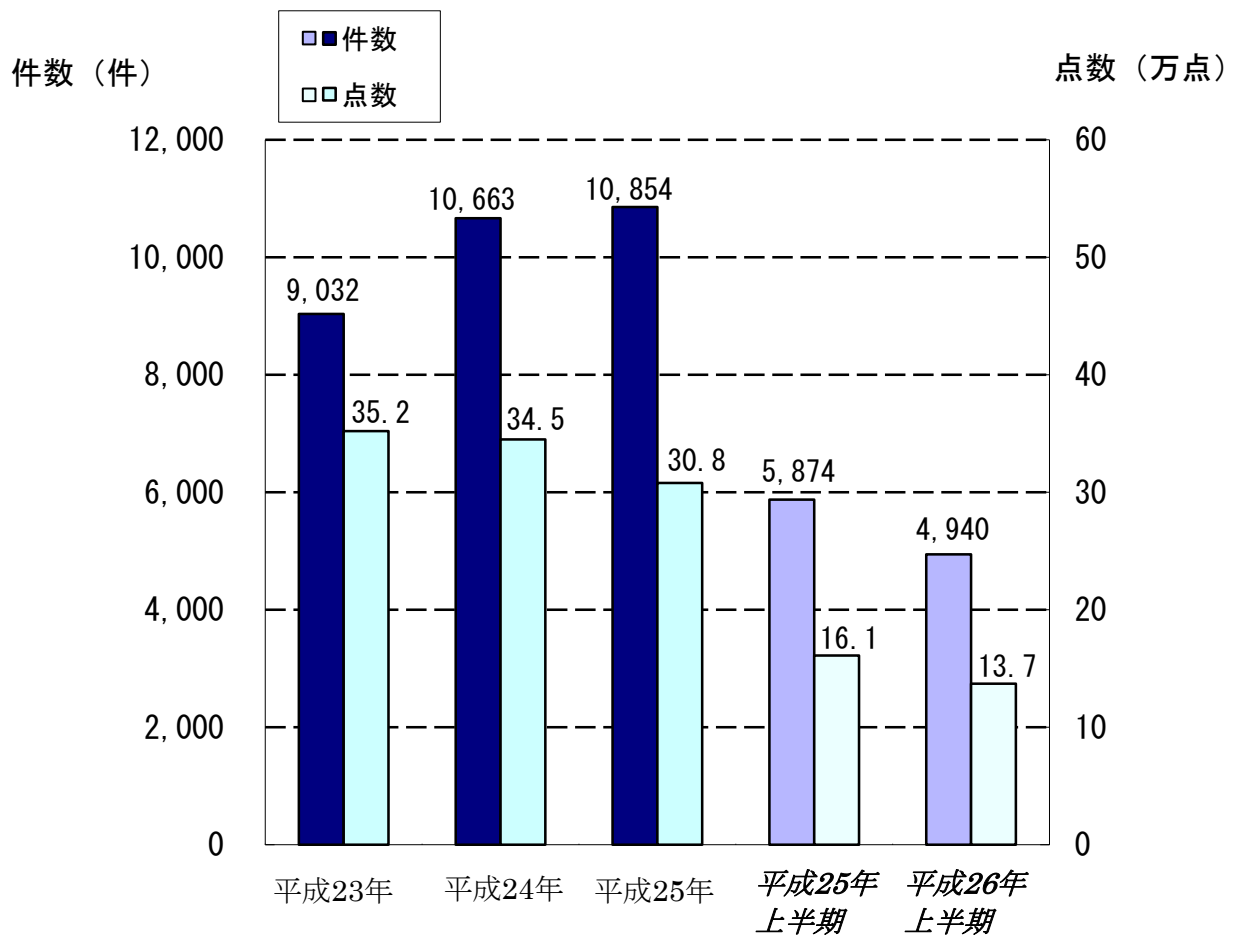
東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264 FAX 03-3599-6442

平成26年上半期の知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

- 平成26年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の輸入差止件数は4,940件で、前年同期比で15.9%減少しました。
- 平成26年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の輸入差止点数は136,984点で、前年同期比で14.9%減少しました。主に、中国来の文具類、携帯電話及び付属品、衣類、バッグ類等を差し止めています。
- 1日平均でみると約27件、約750点の知的財産侵害物品を差し止めています。

（注）差止件数・差止点数は、税関が差し止めた知的財産侵害物品に係る一般貨物及び郵便物の件数・点数をそれぞれ計上したものです。

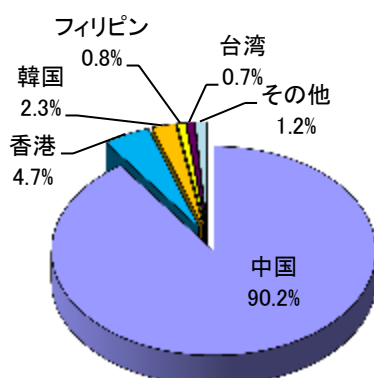
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成23年～平成26年上半期）



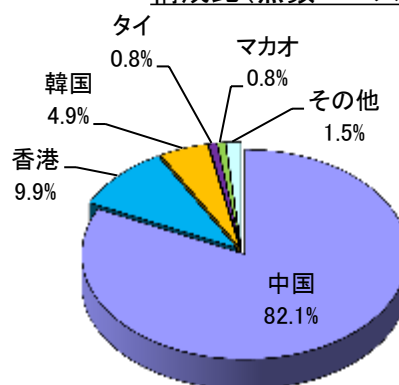
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が 4,458 件（前年同期比 17.5%減、構成比 90.2%）と引き続き全体の約 9 割を占めています。次いで香港来が 230 件（前年同期比 3.1%増、構成比 4.7%）、韓国来が 116 件（前年同期比 2 倍、構成比 2.3%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 112,466 点（前年同期比 16.2%減、構成比 82.1%）、次いで香港来が 13,556 点（前年同期比 0.3%増、構成比 9.9%）、韓国来が 6,665 点（前年同期比 35.9%増、構成比 4.9%）となりました。

仕出国(地域)別差止実績
構成比(件数ベース)



仕出国(地域)別差止実績
構成比(点数ベース)

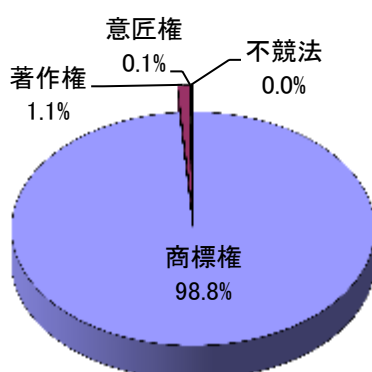


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

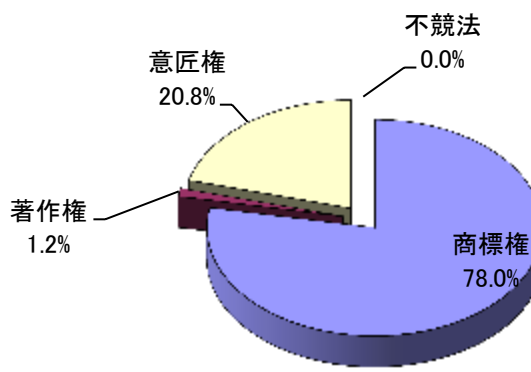
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 4,913 件（前年同期比 16.0%減、構成比 98.8%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 53 件（前年同期比 39.5%増、構成比 1.1%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が 6 件（前年同期比 20.0%増、構成比 0.1%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 106,794 点（前年同期比 33.0%減、構成比 78.0%）、次いで意匠権侵害物品が 28,541 点（前年同期比約 108 倍、構成比 20.8%）、著作権侵害物品が 1,647 点（前年同期比 48.2%増、構成比 1.2%）、となりました。

知的財産別差止実績構成比
(件数ベース)



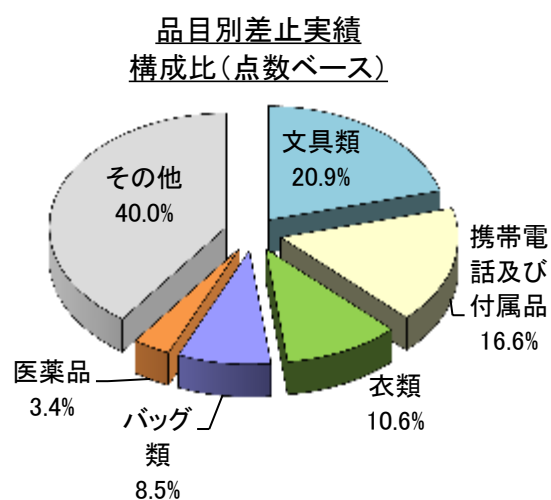
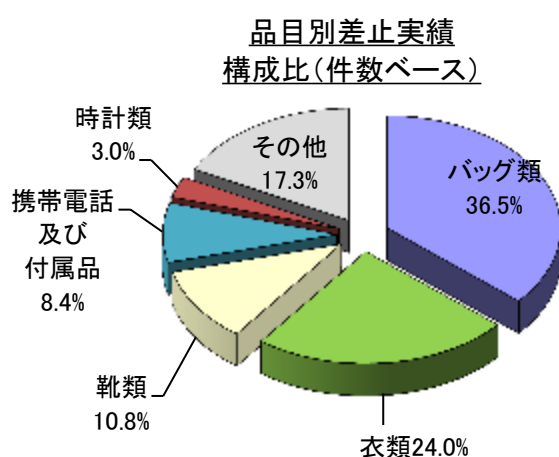
知的財産別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が2,066件（前年同期比45.7%減、構成比36.5%）、衣類が1,358件（前年同期比54.5%増、構成比24.0%）、靴類が611件（前年同期比約2.6倍、構成比10.8%）、携帯電話及び付属品が478件（前年同期比13.8%増、構成比8.4%）、時計類が170件（前年同期比13.3%減、構成比3.0%）となりました。
- 輸入差止点数は、文具類が28,602点（前年同期比18.1%減、構成比20.9%）、携帯電話及び付属品が22,733点（前年同期比25.0%増、構成比16.6%）、衣類が14,483点（前年同期比18.5%減、構成比10.6%）、バッグ類が11,648点（前年同期比22.9%減、構成比8.5%）、医薬品が4,693点（前年同期比5.3%減、構成比3.4%）となりました。

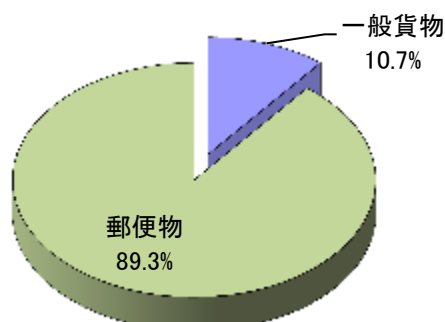


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

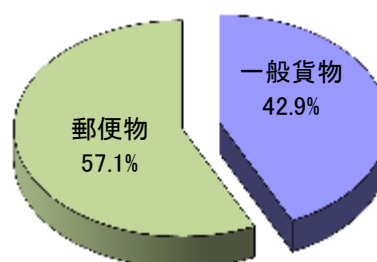
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が4,413件（構成比89.3%）、一般貨物が527件（構成比10.7%）となりました。
- 輸入差止点数は、郵便物が78,179点（構成比57.1%）、一般貨物が58,805点（構成比42.9%）となりました。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。